

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線	5163
部名	管理部	課名	学務課		課長名	高橋 哲
事務事業名	学童通学安全事業(学童通学安全指導員)					
予算上の事務事業名	学童通学安全経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23210		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします					
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり					事業開始年度
施策名	第1施策 交通事故のないまちづくり					平成14年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	学童通学安全指導員運営要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	対策 ▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
	通学路で特に車両の通行が多く信号機が設置されていない横断箇所等に、交通安全指導を行う学童通学安全指導員を配置し学童の登下校時の安全を図る。					(2) 対象(誰、何)
						指導箇所 4 2校 9 4箇所
	(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校長より推薦を受けた者を指導員として認定 ・学童の登下校時間に、指導配置地点において道路横断等の交通の整理・誘導を実施 指導配置箇所 9 4箇所 9 6名 登校時 7 5箇所 1時間・820円 下校時 1 7箇所 1時間又は2時間・820円又は1640円 防犯対策 2箇所 1時間・820円					
6 関連・類似事業や他市の状況	県央8市の状況 伊勢原市:交通整理員(事業主体は交通安全協会) 6箇所 6名 4時間勤務 1時間あたり810円を協会へ補助金交付 座間市 :学童交通安全指導員 8箇所 8名 4時間勤務 日額4,235円～5,909円(勤続年数による) 大和市 :通学指導員 4箇所 4名 5時間勤務 月額112,500円					
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	13,719	16,131	17,974	21,531	21,531	
一般財源	13,719	16,131	17,974	21,531	21,531	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	5,034	4,806	4,842	4,842	4,842	
事業コスト合計(a)	18,753	20,937	22,816	26,373	26,373	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	主たる事業名					
	学童通学安全指導員			対象名称 (単位)	指導箇所(箇所)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	18,753	20,937	22,816	26,373	26,373	
対象数	73	83	94	96	96	
単位あたり経費(円)	256,890	252,253	242,723	274,719	274,719	
前年度比		0.98	0.96	1.13	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	実配置箇所数	指標式と指標の説明		実配置箇所数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	73.0	83.0	94.0		
目標	0.0	0.0	0.0	96.0	96.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	指導箇所事故防止率(%)	指標式と指標の説明		100-(指導箇所における交通事故報告件数/指導員配置箇所×100) 指導員配置箇所の交通事故防止達成率	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		交通事故発生件数は減少傾向にあるが、依然として高い数値であるため事業は継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 現在も多くの通学路で、PTAや子ども会等のボランティアの方々が安全指導を行っており、この割合を高めてゆきたい。			14 課題として認識されたこと 信号機等の設置や道路の改良が行われた箇所については、指導員の廃止について検討していく。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			